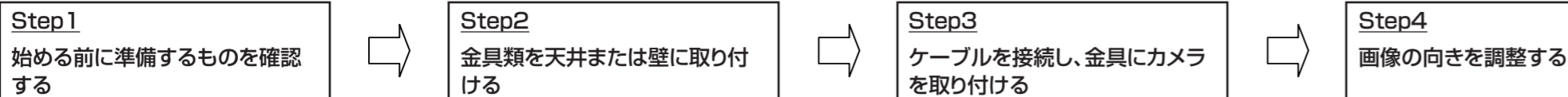


設置する

設置工事を4ステップで説明します。

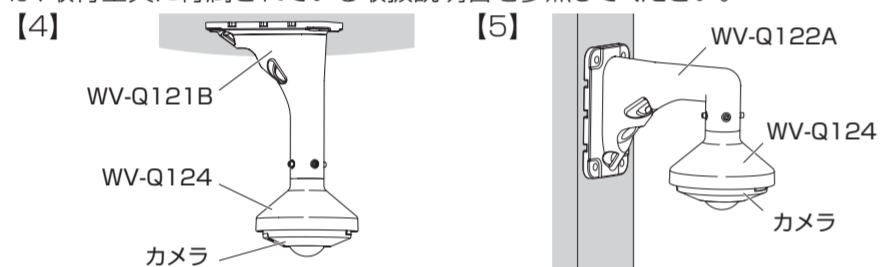


Step1 設置工事を始める前に

本機を天井や壁面に取り付けるには次の6通りがあり、それぞれの工事に必要なものも前もって準備しておく必要があります。カメラ設置時の取付条件は次のとおりです。

取付方法	推奨ねじ	最低引抜強度
[1] 2コ用スイッチボックスに①アタッチメント金具(付属品)を使って取り付ける	M4×4本	196 N/20 kgf/1本
[2] アタッチメント金具を使って天井または壁面に直接取り付ける(天井裏、壁裏面に配線できる場合)	M4×4本	196 N/20 kgf/1本
[3] ②ベース金具(付属品)を使って天井または壁面に取り付ける(接続管を使って配線をする場合、裏面に配線接続のスペースが無い場合)*1	M4×4本	196 N/20 kgf/1本
[4] WV-Q121AあるいはWV-Q121B(カメラ天井吊り下げ金具)とWV-Q124(吊り下げ金具)を使って天井に設置する場合*1*2	M10×4本	1411 N/144 kgf/1本
[5] WV-Q122A(カメラ壁取付金具)とWV-Q124(吊り下げ金具)を使って壁面に設置する場合*1*2	M10×4本	823 N/84 kgf/1本
[6] WV-Q123(パイプ取付金具)とWV-Q124(吊り下げ金具)を使って別途調達金具へ取り付ける場合*1*3	別途調達金具の取扱説明書をご確認ください	

- *1 ②ベース金具(付属品)もしくはWV-Q124に①アタッチメント金具(付属品)を固定するときには、本機に付属されているM4×8 mmのねじ4本を使用します。
- *2 WV-Q121A、WV-Q121B、WV-Q122AをWV-Q124と組み合わせて取り付ける手順は、それぞれの取付金具に付属されている取扱説明書を参照してください。
- *3 WV-Q123と別途調達の取付金具をWV-Q124と組み合わせて取り付ける手順は、取付金具に付属されている取扱説明書を参照してください。



重要

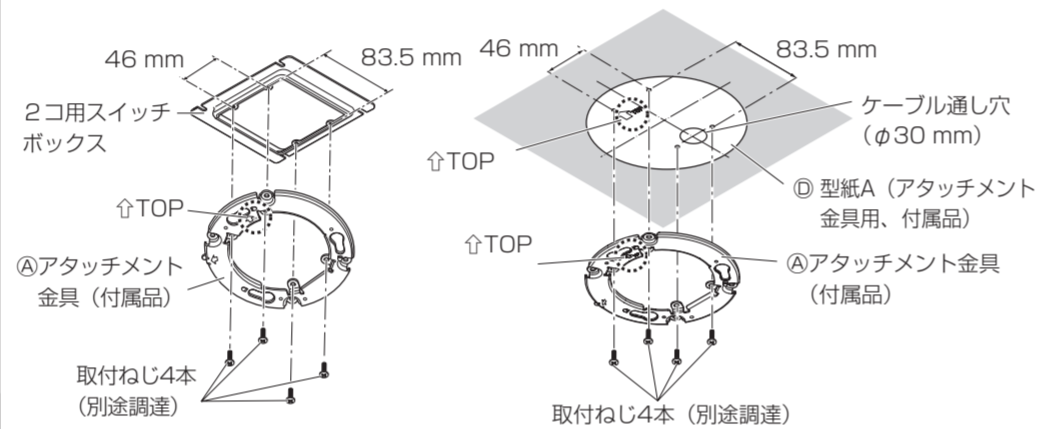
- ①アタッチメント金具(付属品)または②ベース金具(付属品)を壁、天井に取り付ける取付ねじ4本(M4、JIS規格品)を別途ご用意ください。
- コンクリート天井の場合は、パナソニック株式会社のAYプラグボルト(M4)で固定してください。(推奨締付トルク 1.6 N・m {16 kgf・cm})
- ねじの種類は天井または壁面の材質に合わせてご選択ください。木ねじおよびくぎは使用しないでください。
- 石こうボードなど、強度が不十分な天井に取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

Step2 金具を固定する

- 2コ用スイッチボックスにアタッチメント金具を使って取り付ける
- 天井や壁にアタッチメント金具を直接取り付ける

メモ

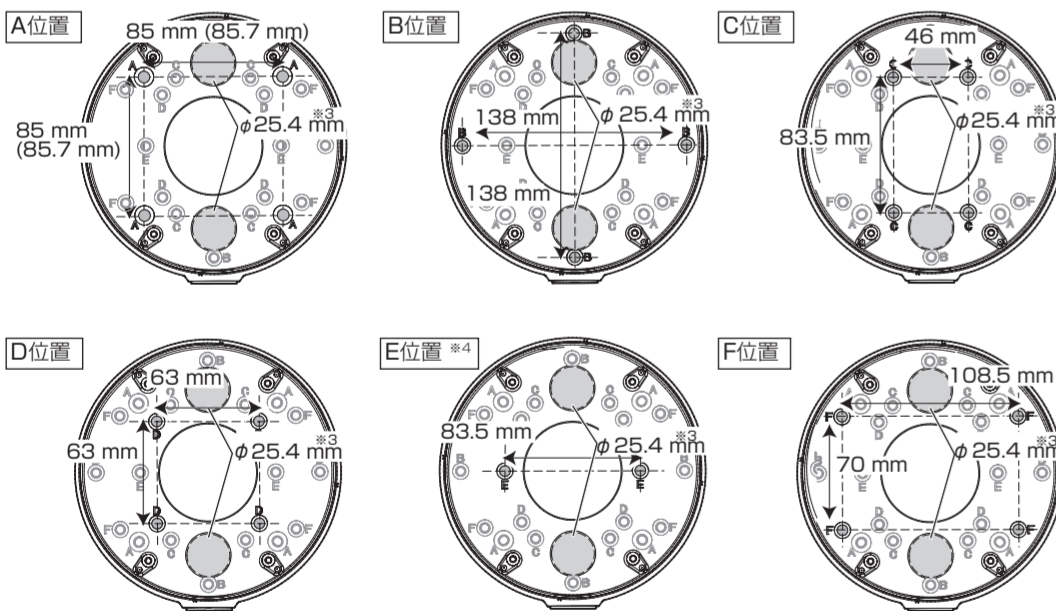
- ①アタッチメント金具(付属品)の「↑TOP」の方向が画面の上方向になります。
- 天井に設置する場合画面の上方向にしたい向きを決め、①アタッチメント金具(付属品)と、②型紙A(アタッチメント金具用、付属品)の「↑TOP」を合わせて取り付けます。
- 壁に設置する場合①アタッチメント金具(付属品)の「↑TOP」が上を向くように取り付けてください。



[3] ベース金具を使って天井または壁面に取り付ける

<ベース金具の取付方法>

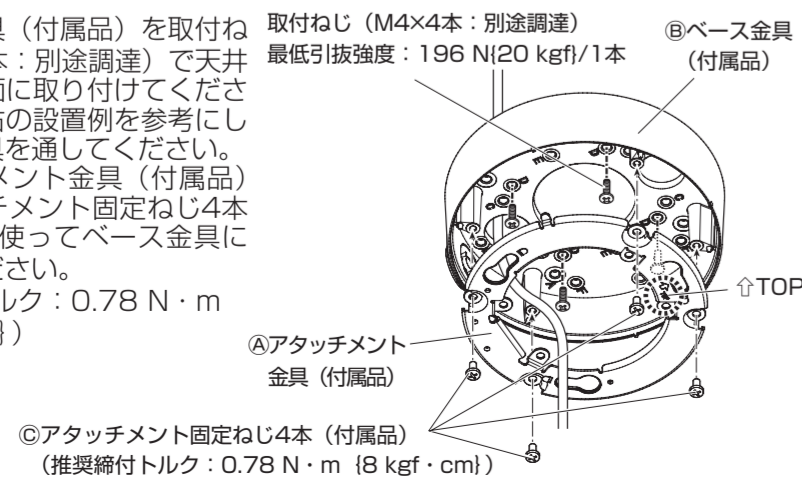
②ベース金具(付属品)は、天井や壁面の状態によって次の6通りのねじ位置で固定できます。取付に使用する穴は、A~Fの位置で統一して使用してください。



- *3 配線用の穴径はいずれの場合もφ25.4 mmです。工事の際には②型紙B(ベース金具用、付属品)のベース金具固定用穴2か所のどちらかを選んで工事してください。
- *4 E位置は1コ用スイッチボックスに取り付ける場合で、M4×2本(別途調達)で固定してください。

<天井または壁面の裏面より穴をあけて配線する場合>

- ②ベース金具(付属品)を取付ねじ(M4×4本:別途調達)で天井もしくは壁面に取り付けください。配線は右の設置例を参考にしてください。
- ①アタッチメント金具(付属品)を②アタッチメント固定ねじ4本(付属品)を使ってベース金具に固定してください。(推奨締付トルク: 0.78 N・m {8 kgf・cm})



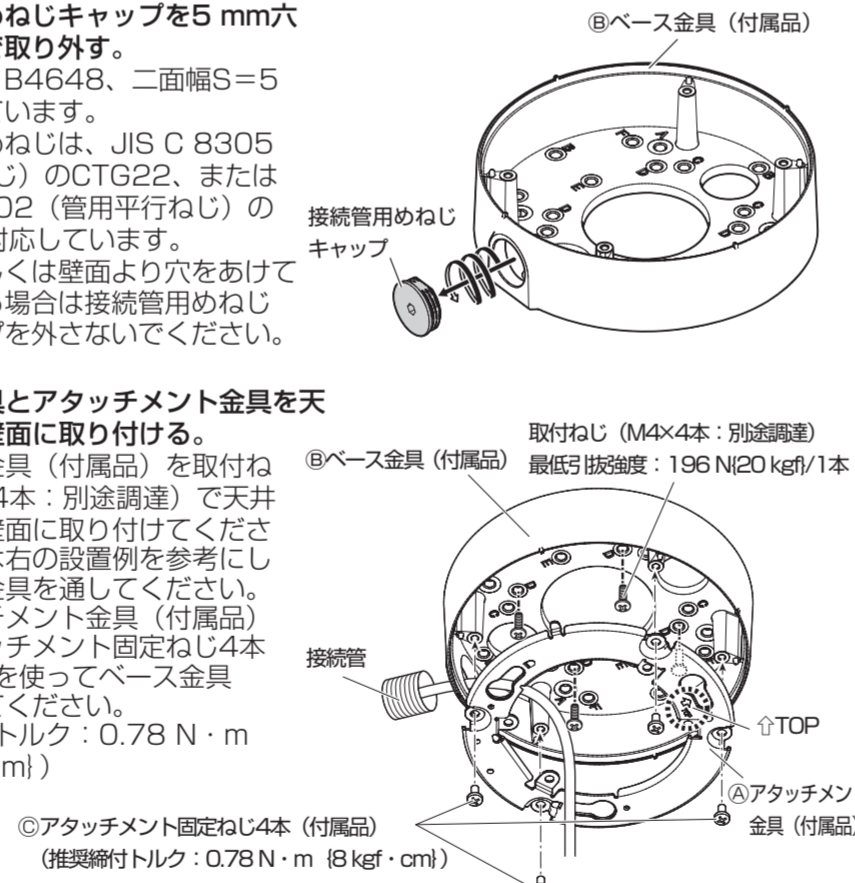
<天井または壁面の接続管を使って配線する場合>

①接続管用めねじキャップを5 mm六角レンチで取り外す。

六角はJIS B4648、二面幅S=5に対応しています。接続管用めねじは、JIS C 8305(電線管用ねじ)のCTG22、またはJIS B 0202(管用平行ねじ)のG3/4に対応しています。*天井もしくは壁面より穴をあけて配線する場合は接続管用めねじキャップを外さないでください。

②ベース金具とアタッチメント金具を天井または壁面に取り付けます。

- ②ベース金具(付属品)を取付ねじ(M4×4本:別途調達)で天井もしくは壁面に取り付けください。配線は右の設置例を参考にしてください。
- ①アタッチメント金具(付属品)を②アタッチメント固定ねじ4本(付属品)を使ってベース金具に固定してください。(推奨締付トルク: 0.78 N・m {8 kgf・cm})



重要

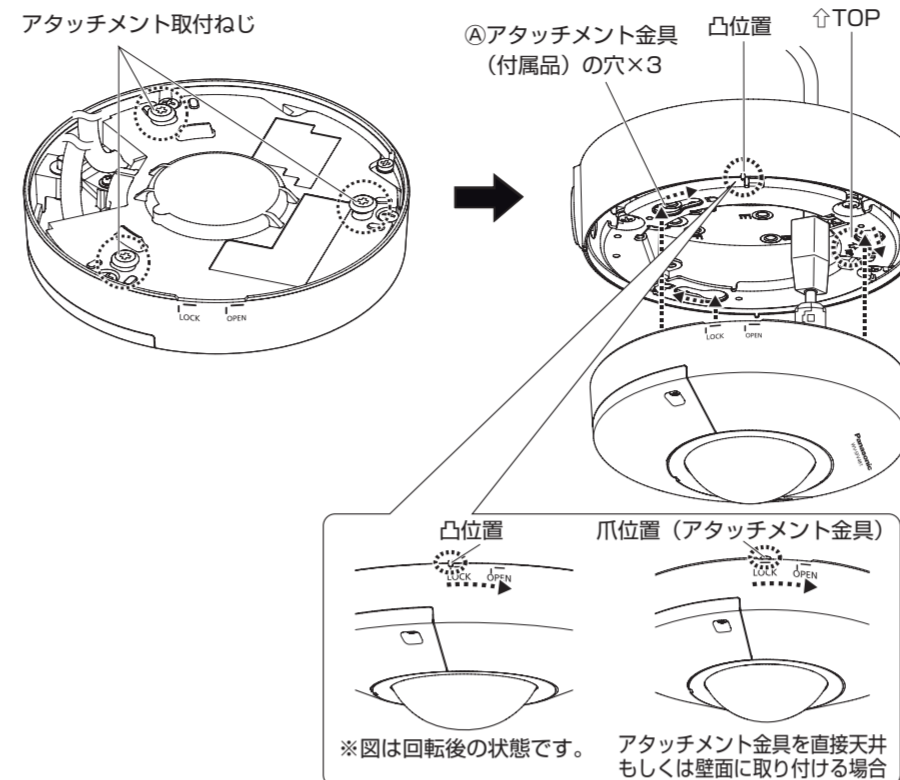
- ケーブルを露出配線する場合は、必ず接続管を使用して、ケーブルに直射日光が当たらないようにしてください。
- 接続した接続管を通して建物など接続先に水が浸入しないように、工事をしてください。

メモ

- ①アタッチメント金具(付属品)は「↑TOP」マークが必ず接続管取付めねじキャップと反対の向きになるように取り付けください。
- ①アタッチメント金具(付属品)の「↑TOP」の方向が画面の上方向になります。画面の上方向にしたい向きを決めて②ベース金具(付属品)の向きを合わせてください。
- 壁に設置する場合、①アタッチメント金具(付属品)の「↑TOP」が上を向くように取り付けください。

Step3 カメラを金具に取り付ける

- カメラ底面のアタッチメント取付ねじの位置を確認する。
- 「接続のしかた」に従いカメラとケーブル類を接続し、アタッチメント取付ねじと①アタッチメント金具(付属品)の穴を合わせて、カメラを取り付ける。



メモ

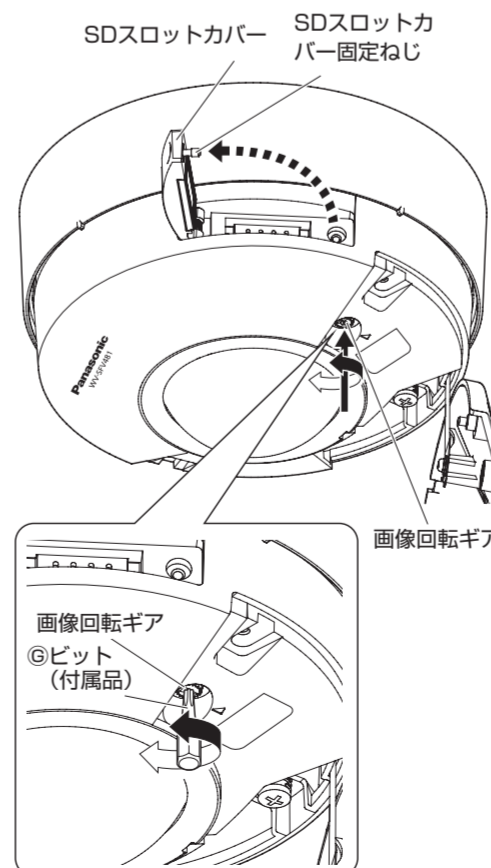
- 本機へケーブル類を接続したあとに、カメラのPanasonicロゴの方向を①アタッチメント金具(付属品)の「↑TOP」に合わせます。エンクロージャー側面のOPENマークを②ベース金具(付属品)の凸位置に合わせて、アタッチメント取付ねじ(3か所)をアタッチメント金具へ差し込み、約15°回転させ、LOCKマークがベース金具の凸位置に移動して仮固定となります。(アタッチメント金具を直接天井もしくは壁面に取り付ける場合はOPENマークをアタッチメント金具の爪に合わせます。)

重要

- DC12 V電源、PoE電源は、カメラ取り付け作業中に電源が入らないようにシステムの電源を切断しておいてください。
- サブカバーはカメラ本体にサブカバーシートで取り付けられていますので外さないでください。
- 壁に取り付けるときは、除湿素子に水がとどまらないように、除湿素子を上側にしないでください。水がとどまると除湿素子が機能しません。

Step4 調整する

- カメラ本体側面にあるSDスロットカバー固定ねじを⑥ビット(付属品)を使って緩め、SDスロットカバーを開く。
- カメラの電源を入れる。SDスロットカバー内部にあるLINKランプが点灯し、ACTランプが点滅していることを確認する。(ランプ動作の詳細は「各部の名前」の説明を参照してください。)*電源を入れたあとに、レンズ部分より数秒間音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 付属の「カメラを設定する」(チラシ)を参照してカメラの設定を行い、PCの画面上にカメラの画像が出ることを確認する。
- ドームカバー表面の保護フィルムを取り外す。
- PC上の画面を確認しながら、画像回転ギアを使って画面の上方向を合わせる。



*サブカバーの一部を省略しています。

PC画面上の調整可能範囲

- 45° ~ +45°
- 画像回転ギアの工場出荷位置は0°です
- ダブルパンoramaは、画像回転ギアが工場出荷位置の場合、斜め45°に傾いた画像が表示されます。ダブルパンoramaの画像を水平/垂直に分割表示したい場合は、画像回転ギアで調整してください。画像回転ギアの調整結果は、ダブルパンoramaを含むすべての撮像モードに反映されます。

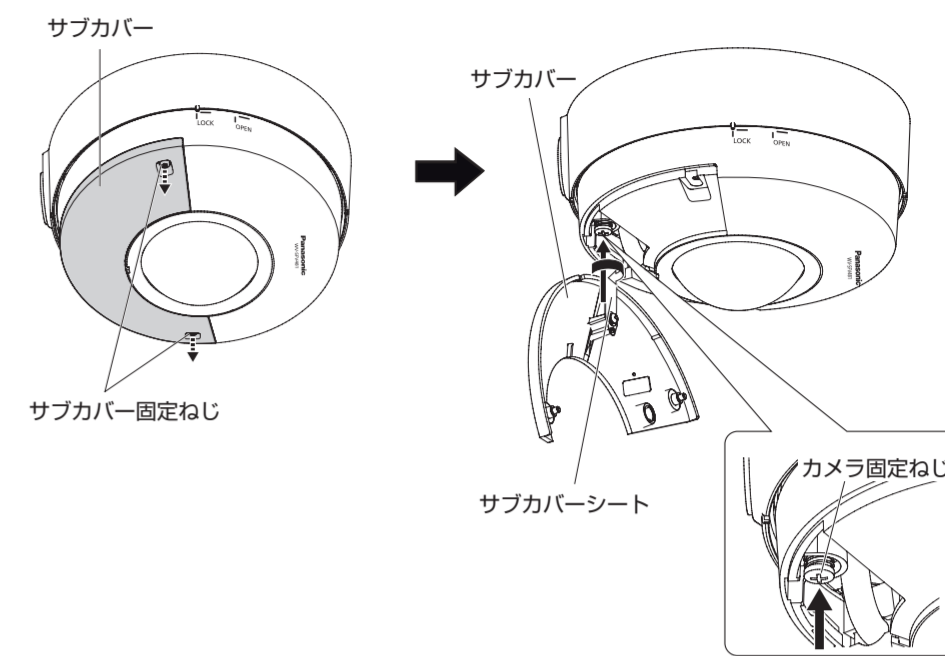
メモ

- 撮像モードをダブルパンorama、パンoramaに設定時は、プリセットポジション設定で画像を90°ごとに回転することができます。さらに画像角度を微調整したい場合は、画像回転ギアで調整してください。詳細は取扱説明書 操作・設定編 2.4.1項と2.4.5.4項を参照してください。

メモ

- モニター出力をご使用の場合は以下の点にご注意ください。
- 「撮像モード」を「9M魚眼」または「4M魚眼」に設定してください。
- φ3.5 mmのモノラルミニプラグ⇄RCAピンジャック変換ケーブルを別途調達してください。
- [設定]→[基本]のタブ→[モニター出力]をOn(NTSC)またはOn(PAL)に設定してください。

- ③ビット(付属品)を使って、サブカバー固定ねじ2本を緩める。
- ④サブカバーを本機より取り外し、カメラ固定ねじでカメラを固定する。(推奨締付トルク:0.78 N・m {8 kgf・cm})

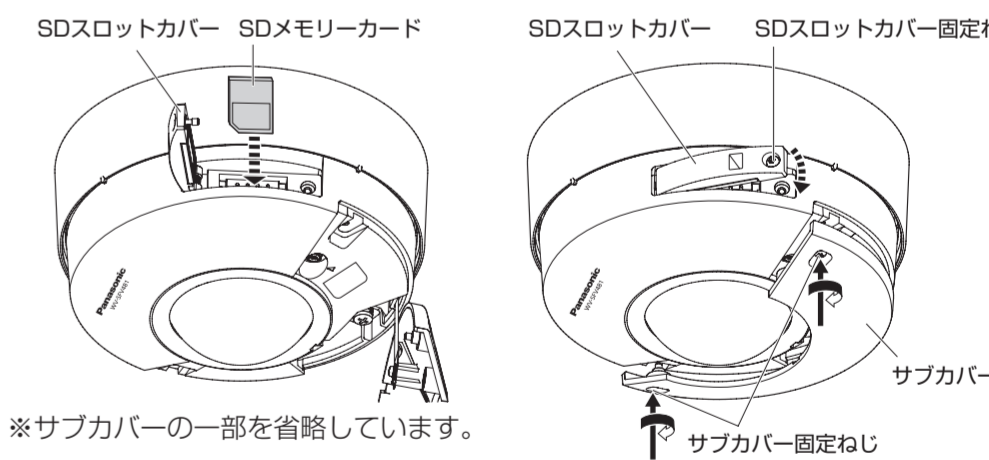


重要

- カメラ固定ねじは確実に締めてください。落下事故の原因になります。(推奨締付トルク: 0.78 N・m {8 kgf・cm})

- 必要な場合はSDメモリーカードを挿入する。SDメモリーカードは、ラベル面を下側にして挿入してください。
- サブカバーを元の位置に戻し、サブカバー固定ねじ2本で固定する。(推奨締付トルク:0.78 N・m {8 kgf・cm})

- SDスロットカバーを閉め、SDスロットカバー固定ねじを締めて固定する。(推奨締付トルク:0.78 N・m {8 kgf・cm})



*サブカバーの一部を省略しています。

- SDメモリーカードを取り外すときは、SD ON/OFFボタンを長押し(約2秒)し、SD MOUNTランプが消灯に変わったことを確認後、SDメモリーカードを取り出します。
- SDメモリーカード交換が完了したら、SD ON/OFFボタンを押し、SD MOUNTランプが点灯することを確認します。
- SDメモリーカードの交換完了後、SD ON/OFFボタンを押さなかった場合、約5分後に、自動的にSD MOUNTランプが点灯します。

重要

- SDスロットカバー固定ねじをしっかりと締めてください。漏水など故障の原因となります。
- サブカバー固定ねじ2本は確実に締めてください。落下の原因になります。
- 設置完了後、ドームカバーの表面を柔らかい布などで清掃してください。
- 設置完了後、画像のフォーカスがずれている場合は、一旦カメラの電源を切り、再度投入します。その後も画像のフォーカスがずれている場合は、[設定]→[カメラ]より[画質/ポジション]タブを選択し、[バックフォーカス][詳細設定へ]からバックフォーカスを再調整してください。

*カメラを取り外す際は設置時と逆の手順で撤去作業を実施してください。